

## 平成28年度 学校自己評価

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的な生活態度の確立	毎日の登校指導の実施 「校則や社会のルールを守っている」と答える生徒90%以上 欠席を1日あたり1人未満に抑える。	毎日登校指導を実施した。 1年生100% 2年生96% 3年生98% 1年生1.1人 2年生1.5人 3年生1.1人	A	学科減、くくり募集という新しい運営の中で、本校の特徴でもある「ものづくり教育による人づくり」という意識を持ち、取り組むことができた。 欠席については、インフルエンザや胃腸炎などが流行したこともあり、体調などの自己管理を意識させる必要がある。
	読書環境の充実	図書館便りの定期的な発行と貸出数の昨年度比増加を図る。 「朝読書の時間は有意義である」と答える生徒90%以上  「図書館やPTAコーナーにある本を読んだことがある」と答える生徒70%以上	図書館便りは新刊案内と併せ8回発行 1年生71% 2年生70% 3年生77%  1年生45% 2年生43% 3年生45%	C	貸出数は昨年度に比べ、91%とやや下がったが、PTAコーナーを活用する生徒が増えた。 朝読書が読書の良い機会となっている。選書などの事前指導を積極的に行うとともに、学級文庫を臨時で設けていきたい。 図書館及びPTAコーナーの充実と返却率の向上が課題である。
イ	学習指導の充実	校内公開授業週間における教員相互の授業参加率90%以上と自主的な研究授業実施者5人以上 「興味を持てる授業がある」と答える生徒90%以上	教員相互の授業参加率は88%、自主的な研究授業実施者は14人 1年生94% 2年生86% 3年生82%	A	研究授業実施者が増加した。自由な雰囲気でお互いの授業を參觀できるよう環境を整えたい。  学年が上がるにつれ、数値が下がっている。特に、3年生の進路先決定後のモチベーションを下げない工夫が必要である。
		学科選択を含めた1年次の教育課程等の検証及び2年次以降の教育課程の確認	くくり募集に伴った教育課程を実施することができた。	A	1年次の工業科目の共通認識は図れた。2年次以降の教育課程を再検討するとともに、授業改善への取組も進めていく。
ウ	能力・適性・希望に応じたきめ細やかな進路指導の推進	「進路について親と話をする」と答える生徒75%以上 「進路の手引を利用する」と答える生徒50%以上	1年生73% 2年生72% 3年生89% 1年生30% 2年生48% 3年生78%	A	保護者会など、動機付けとなる行事は充実しているため、家庭で話し合う機会は増えている。 手引を大幅に改善し、LHRで活用できるよう計画していく。 1年生は、進路に関する内容が2学期後半となり、アンケートに反映されにくい。
エ	安全指導の推進と危機管理能力の向上	「登下校時、交通法規を遵守している」と答える生徒95%以上	1年生99% 2年生96% 3年生96%	A	1年生は、運転技術の未熟さや危険予知能力が低いいため、4月にサイクルマナーアップ教室を開催している。

様式第3号

		工場及び実習室の整理整頓を行うとともに、事故0を目指す。	整理整頓を心がけている生徒は96%であり、大きな事故はなかった。	A	作業前後の実習室の整理整頓、用具・服装の点検を行うことで、事故防止に努めている。今後も事故0を目指し、安全教育の更なる徹底を図る。
		総合・地域防災訓練への参加率90%以上  「地震等大規模災害発生時の連絡方法や行動について親と話し合っている」と答える生徒70%以上	地域防災訓練は87%であったが、総合防災訓練は12%と低かった。  1年生52% 2年生57% 3年生59%	B	参加率が伸びない一因として、必ずしも居住地域での自治会からの連絡が徹底されていない場合もあり、事前に市町の防災訓練計画を掲示し参加を呼びかけている。 防災カードの提出は家庭内での話し合いにつながっているが、変更等についての確認など今後継続的に見直しを進め、より一層家庭との連携を図っていく。
	「役立ち感育成プロジェクト」の推進	「この1年間で、他団体との交流やボランティア活動へ参加したことがある」と答える生徒60%以上	1年生50% 2年生54% 3年生62% 興味関心のある生徒が増えてきた。	B	ボランティア意識の高い部活やリピータが多く参加しており、地域からの評価も高い。反面関心の薄い生徒もいるため、自主的に参加したいと思えるような活動内容や募集広報活動を展開していきたい。
オ	健康指導の推進	朝食摂取率95%以上  「1年間で体力が向上した」と答える生徒80%以上	5、10月調査の平均は96%  1年生94% 2年生84% 3年生59%	A	5月調査で欠食した生徒に対し、8月に講師を招いて朝食セミナー（講話と調理実習）を実施した。多方面からの継続指導が必要である。 授業開始時のサーキットトレーニングの成果と考えられる。内容を見直しつつ、効果的に実施したい。
	教育相談システムの充実	ケース会議の開催、教育相談関係の知識の向上を図る。  「教育相談室では、どのような支援を行っているか知っている」と答える生徒・保護者80%以上	学校支援心理アドバイザー事業を活用して月2回程度実施、関係教員含め指導方針を検討している。  1年生25% 2年生24% 3年生31%	B	問題を抱えている生徒の状況を理解し、各立場の教職員が共通認識を持つことに主眼を置いて支援活動を行った。 臨床心理士のアドバイスを受け、支援のあり方等で各教員の知識が向上したと思われる。  生徒・保護者への周知がまだまだ不足していることが課題である。

様式第3号

カ	ホームルーム活動及び生徒会活動の自主的な運営	「吉峰祭では積極的に参加し、係りの仕事を行った」と答える生徒90%以上	1年生 91% 2年生 93% 3年生 84%	A	吉峰祭では、学校行事が重なる厳しい日程であったが、生徒は積極的に活動をしていた。学級減もあり、仕事の割振が均等になるよう検討する必要がある。
	部活動の活性化	「部活動に無断で休まず取り組んでいる」と答える生徒80%以上 県大会出場の部が10以上	1年生 84% 2年生 66% 3年生 59% 県大会出場は11であった。	A	生徒は、意欲を持って活動に参加した。3年生は5月には活動が終わる場合があるため割合が低いと考えられる。学級減による部活の統廃合が課題である。
キ	地域から期待・信頼される、工業高校であることを広報する活動の充実	校内の情報収集の改善と週1回のホームページ更新に努める。	2学期よりホームページで「吉工の日常」を公開し、授業日ごとに更新できた。	A	日常の小さな情報でも、毎日100人程度の読者が存在することが確認できた。情報発信を行いやすい体制作りを構築したい。
		技能競技大会等へ積極的に参加し、上位入賞を目指す。 出前授業、ものづくり講座、イベント等の充実を図る。  「資格取得に向け、積極的に取り組んでいる」と答える生徒70%以上	8部門13人が出場、3人が上位入賞した。 技能検定3級は19人合格、2級は旋盤で1人合格。 1年生 58% 2年生 58% 3年生 54%	B	マイコンカーラリーでは、県大会上位入賞を果たし、3年連続全国大会にも出場した。 富士のふもと産業教育交流フェアを本校主催で開催、1100人の来場者、好評価であった。  受検費用の問題もあるが、専門学科として必要な資格等を意識させた取組が必要である。
ク	教育環境の整備の推進と効果的な学校経営予算の執行	「学校生活を安心して過ごすことができる」と答える生徒・保護者が90%以上  「事務室は、親切な対応をしてくれる」と答える保護者・生徒が90%以上  定期的な予算執行状況の把握と周知	1年生 90% 2年生 87% 3年生 87% 保護者 86%  1年生 82% 2年生 86% 3年生 88% 保護者 89%  予算の執行状況の周知に努め、適正に執行することができた。	A	施設に起因する怪我は0件。不良箇所の早期発見と適切な対応に努めた。安心安全な環境整備のため、月1回の定期点検を実施する。 校納金の納入時期をメール配信し、納入忘れが半減した。引き続き学校の窓口として丁寧な対応を行う。  各教科、分掌からの予算要望に対する検討と調整を十分に行い、教育活動に反映させるため早期執行に努める。